

かけ橋

第 4 号

平成20年7月18日

- ☆ 元 気
- ☆ 本 気
- ☆ 根 気
- ☆ 思いやり

夏休みが始まります

四月八日(月)から始まった一学期も本日で終了です。大きな事故や怪我もなく、九名全員が元気に一学期終業式を迎えたことは、大変うれしいことです。いよいよ、待ちに待った夏休みが始まります。長い休みですが、過ごし方によっては「あっ」という間に終わってしまいます。日頃学校ではできない学習や体験などを行い、有意義な休みにしてほしいと思います。

学校では、夏休みのくらし方について説明し、計画的な生活について指導しました。

- ◎規則正しい生活をする。
- ◎健康と安全に気をつける



子どもの元気とやる気の源は、心と体の健康です。食事や起床、就寝時間などの生活リズムを守り、病気や事故に気をつけることが大切です。長い休みなのでつい気の緩むこともあると思います。家庭や地域の皆様には、子どもの生活や安全について温かく見守っていただき、必要に応じてご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

人権尊重の都市「浜田市」

人が輝き文化のかおる人権尊重のまちをめざして、六月二十九日(日)に石中央文化ホールで、「浜田市人権尊重のまちづくり推進大会」が開催され、人権尊重都市宣言が発表されました。

二十一世紀を「人権の世紀」にしようとする様々な取組がなさ

れていますが、残念ながら、人の命や安全を脅かす事件や不当な差別など、様々な人権問題が生じています。また子どもに關しても、いじめや暴力、虐待、ネット上での誹謗中傷などの問題も深刻化しています。今回の宣言は、市民一人一人が力を合わせて、だれもが安心して心豊かに生活できるまちをめざすものであり、市としての決意の表明です。

浜田市人権尊重都市宣言

すべての人は、生まれながらにして、人としての尊厳が守られ大切にされ、人間らしく幸せに生きる権利を有しています。

しかしながら、私たちのまわりには、今なお同和問題をはじめとするさまざまな人権侵害、不当な差別や偏見が存在し、また社会情勢や価値観の変化による新たな人権問題も生じています。

私たち一人ひとは、日本国憲法や世界人権宣言の理念の下、たゆまぬ努力を重ねて、差別や偏見をなくし、すべての人が個人として尊重され、それぞれの能力に応じた可能性を十分発揮できる社会の実現をめざします。

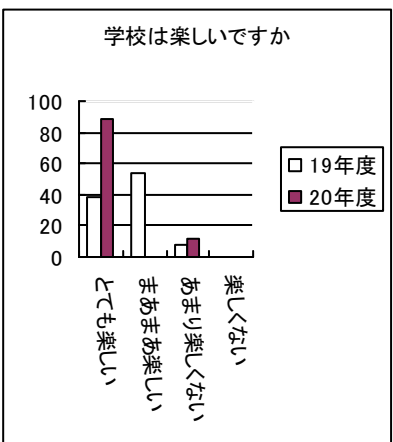
ここに、私たち浜田市民は、人権問題について共に考え、理解し、お互いが人権を尊重する心豊かな住みよいまちを築くため、人権尊重の都市「浜田市」を宣言します。

私たちも、人権尊重の教育を基盤とし、「みんなの笑顔と夢のあふれる」学校づくりを推進します。

もっと楽しい宇野小学校に

学校では、生活アンケートを実施することで、日ごろの子どもたちの気持ちや考えを知り、児童理解を深めるようにしています。

一学期のアンケートでは、「学校は楽しいですか」という質問について下のグラフのようになりました。



昨年に比べて「とても楽しい」が多くなり、喜びま

した。しかし「あまり楽しくない」という回答がまだあります。また、生活の中で直したらよいことも

- ・けんかをしない
- ・悪口や言葉遣い
- ・人の話の聞き方
- ・ろうかを走らない

などの意見がありました。

アンケート結果から、『もっと楽しい宇野小学校』をめざして取組む意欲と態度を高めるために、人権集会を行いました。今回は、周りの人の気持ちをしっかりと考えることをねらいとし、ゲームを通してながら、自分の気持ちを話したり、人の意見を聞いたりして、みんなで見直すことを出し合いました。『人の気持ちに気づく→行動する』声をかける』『ことが大切と考えます。集会で話し合ったことが、生活の中で生かすことができるよう、これからは各学級で考え、取り組んでいきます。』

◎ミュージアムスクール

子ども美術館でミュージアムスクールを行いました。作品に触れたり、遊んだりできる『現代美術の動物園』を鑑賞しました。午後からは、廃材を使った作品を製作しておられる富田さんの指導で、廃材で動物を作りました。はじめは何をどう作るか迷っていた子ども達でしたが、次第に慣れてきて、素晴らしい作品に仕上がりました。ストーリーや空箱など、廃材もアイデア次第で有効に活用できることを再認識しました。夏休みにぜひ作品作りにチャレンジしてほしいと思います。



一学期の間 家庭や地域の皆様からは、教育活動への温かいご支援に加え、校庭の除草や樹木の剪定、花の提供などについても大変お世話になりました。ありがとうございました。

(宇野小学校 二八一二六四六)